

ABSOLUTE NAVETTA 64

アブソリュート・ナビッタ64



くも二つのアワードを受賞した
2020年デビューのシリーズ最新モデル

2020年2月のデュッセルドルフ・ボートショーで概要を発表。
ユーザー予定のカヌー・ヨットフェスティバルは中止だったが、
それでも、二つのアワードを受賞した、注目と期待の一艇。

木曾 昂 写真=アブソリュートヨット
Subaru Kiso, photos by ABSOLUTE YACHT

異形舷窓は特大サイズ。ハルは深く、舷側が直立しているため、船内スペースは無駄が少ない。デッキハウス艇から船尾にかけて「中抜き」になったブルワーク形状にも注目



7-ユニットを搭載。この種のモデルとしては、航走性能についても期待できる。ヨーロッパの専門誌には、巡航19ノット、最高27ノットという記述もある

優れた居住性と快適さの追求。注目の新タイプのアメニティー



船尾室から続くスイムプラットフォームをテラス的に活用できるのも「ビーチクラブ」バージョンの特徴。高乾舷のハルであるからこそ可能なアレンジといえよう。コクピットは大きくオーバーハングしたフライブリッジに守られているが、シェードを下すことで、さらに「囲まれ感」が強くなる。海風が心地よいスペースだが、ギャレはデッキハウスの最船尾側に配されており、コクピットに向けたカウンターも用意されている。最近のモデルらしい、機能的かつ楽しいアレンジである

EU圏内では、1~2月に開催されるドイツのデュッセルドルフ・ポートショー (boot Düsseldorf) で発表を行い、9月カンヌ・ヨットフェスティバル (Yachting Festival de Cannes) で実勢を公開するケースが少なくない。しかし、2020年は世界的な新型コロナウイルス禍によって、3月以降のほとんどのポートショーは事実上の中止。多くの人々が集まる世界的なポートショーでワールドプレミアを経ることなく、マリニオンへのデビューを果たすモデルが増えることとなった。

イタリアのアブソルートが建造するナビッタ64も、そういった、普通でない形で2020年デビューを果たしたモデルの一つだが、それでもこのプランニューモデルは、「見つかった」ようで、すでに2020年デビューのモデルを対象にしたヨーロッパのボートアワードを二つも受賞している。一つは、本来なら、9月のカンヌ・ヨットフェスティバルの中核イベントとして同時開催されたはずの「ワールド・ヨット・トロフィー (World Yacht Trophies)」で、ここでは64~80フィート・カテゴリーにお

ける「ベスト・イノベーションモデル (Best Innovation Model)」を受賞。もう一つは、11月にベルリンで開催された「ベスト・オブ・ボート・アワード (Best of Boats Award)」で、ここでは、「ベスト・フォー・トラベル (Best for Travel)」というアワードを受賞している。さて、ナビッタ64は、アブソルートがロングレンジクルーザーとしてラインアップしているモデルの一つ。深いハルの恩恵で、十分な天井高が確保されたローワーデッキには、居住性に優れた三つのステートルームと、それら



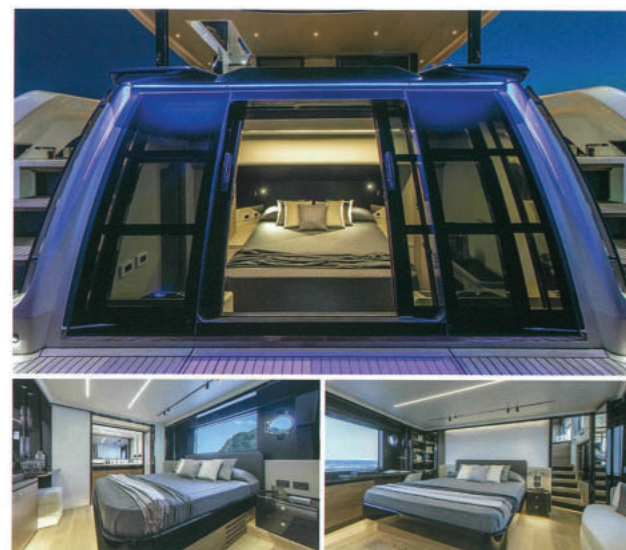
左: 巨大なサンルーフ付きハードトップが備わるフライブリッジ。ハードトップのある船首側にバー設備やダイネットが備わるが、さらに船尾側にも相当なスペースがある。右: デッキハウスにはサロンとダイネット。ハウス内は、その広さも魅力だが、きわめて大きなサイドウィンドーで切り取った、絵画のような海の風景もよいものである

からは独立したクルールーム。メインデッキには、ウィンドー面積が大きいサロンエリアと、船内床を大きくレイズアップして良好な視界を確保したローワーステーション。オーバーハングしたフライブリッジによって守られ、デッキハウス最船尾側に設けられたギャレからもサービスを受けやすい船尾コクピットなど、いかにも新しい世代のロングレンジクルーザーらしい内容のモデルである。

そして、それらに加えて、コクピット下の空間に船尾室を設けて事実上のVIPステートルームとし、スイムプラットフォームをその部屋専用のテラスのようにした「ビーチクラブ (Beach Club)」バージョンの設定が、このモデルのアメニティーを一層際立たせている。

ちなみに「ビーチクラブ」バージョンにおいて、この船尾室への浸水は、絶対にあってはならないわけだが、そのために船尾室とスイムプラットフォームの間のスライディングドアには、空気圧によって密閉度を高めるパッキングが採用されていて、アブソルートの説明によると「防水」ではなく「水密」にすることができたのだという。

搭載パワーユニットは、ボルボ・ペンタD13-IPSI200(900馬力)あるいはD13-IPSI350(1,000馬力)。半滑走域での航走が十分に可能なパワーが与えられている。



上: 「ビーチクラブ」バージョンの船尾室はVIPゲストルームである。スライディングドアを空気圧パッキングで「水密」にするという安全性への配慮は、このアレンジを実現するための必須条件である。下左: ミジップのステートルーム。こちらは通常のVIPステートルームという位置づけのスペースである。下右: 船首室はマスターステートルーム。船首先端の三角地帯を広くとしたバスルームとして活用している

S P E C I F I C A T I O N S

ABSOLUTE NAVETTA 64

- 全長: 19.63m ○水線長: 17.11m ○全幅: 5.52m
- 喫水 (プロペラ含む): 1.78m ○排水量: 49,430kg
- 燃料搭載量: 3,600L ○清水搭載量: 910L
- エンジン: ボルボ・ペンタD13-IPSI350(1,000PS/735kW)×2, ボルボ・ペンタD13-IPSI200(900PS/662kW)×2

問い合わせ:
テクノマレインターナショナル
〒336-0965 埼玉県さいたま市緑区関宮607-1
TEL.048-878-6806
<https://www.tecnomare-yachts.co.jp/>

